

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary
横浜旭ロータリークラブ



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 RI会長／フランチェスコ・アレツォ
RI.D2590ガバナー／大塚 正一
横浜旭RC会長／五十嵐 正



ガールスカウトとクリーン作戦



第12回 チャリティコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836
TEL.080-1215-6668／FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3／4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2025年9月3日 第2590回例会 VOL.57 No.7

- 司会 SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 五十嵐 正
- 斉唱 君が代・奉仕の理想
SL 安藤会員

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	15名
本日の出席率	78.95%	修正出席率	73.68%

■本日の欠席者

中谷、宋、二宮、関澤

■オンライン出席者 福村、佐藤（真）

■誕生日祝い 増田会員 9.20



■会長報告

五十嵐 正

皆様こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

毎日暑い日が続いております。なんでも気象庁観測史上一番暑い夏とのことで、平均2.36°暑かったそうです。そんな中、旭ジャズ祭り大

成功とのことおめでとうございます。私は生憎所要で伺えませんでした。北澤さんをはじめ会員の皆様大変疲れ様でした。

さて、9月のガバナー月信が届いております。皆さんプリントされご存知かとは思いますが、その中で金杉PGの「若の積極的な登用で組織の新陳代謝の活性化につなげる」について思ったこと少しお話ししたいと思います。

「クラブの活性化」について組織を元気に保つために欠かせないのは、世代交代、つまり新陳代謝です。

新陳代謝と聞くと医療や健康のイメージがあるかもしれませんが、組織においては「次の世代が自然に前に出ていける仕組み」を意味します。若い世代が活躍の場を与えられ、挑戦できる環境があって初めて、組織は未来に向かって歩み続けることができます。

一方で、ベテラン世代には、経験に基づく知恵や人脈があります。これをしっかりと伝えながら、時には一歩引いて若い世代に任せていく。そのバランスが大切です。

さて、横浜西ロータリークラブの例をご紹介します。

このクラブは、現在の会員の約62%が60歳未満。若い人が過半数を超え、積極的に新しい

ことに挑戦しています。例えば広報委員会が中心となり、全会員のビデオレターを撮影するなど、従来にはなかった取り組みを始めています。女性会員も14%を占め、活動の幅が広がっています。

印象的なのは、24年前に初めて女性会員を迎えるとき、全員で2度にわたり熱心に議論し、最終的には圧倒的多数で入会が認められたというエピソードです。中には強く反対し退会された方もいたそうですが、現在の女性会員数を見れば、その判断が正しかったことは明らかなです。つまり、新しい風を取り入れるには痛みもありますが、その先に必ず実りがあるということです。

もちろん、私たちの横浜旭クラブと他クラブでは事情が違います。会員数が少ないクラブや、地域の条件が厳しいクラブもあります。しかしどのクラブにも必ず強みがあり、それを若い人に託して伸ばしていくことが大切だと感じます。

横浜旭クラブに目を向けますと、これまで56年間、例会を休まず続けてきたという誇りがあります。これは地区内でも稀有な歴史であり、会員一人ひとりの積み重ねの賜物です。

同時に、私たちも時代に合わせた変化を取り入れていかなくはなりません。若手や女性会員が発想しやすい企画の導入など、やれることはまだたくさんあると感じています。

若い会員の皆さんには、どうか遠慮せずに新しいアイデアを提案していただきたいと思います。「こんなことをやってみたい」「こんな活動なら地域に役立つ」そういった声がクラブを次のステージに導きます。

未来は若い人のためにあります。クラブの活性化は、「四つのテスト」を判断の基準に、会員一人ひとりの企業や団体にも必ず良い影響を与えるはずです。

ロータリーの基本は職業奉仕にあります。だからこそ、クラブが元気になれば、その精神

は私たちの仕事や地域社会にも波及していきます。

これからも、世代を超えて学び合い、支え合うクラブでありたいと思います。

それでは、本日も有意義で楽しい例会となりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■「世界ポリオデー」

新川 尚

「世界ポリオデー」イベントが

9月7日(日) 13:00 - 17:00

横浜市役所アトリウムで行われます。皆さま、奮ってご参加をお願いします。

■ニコニコBOX

田川 富男／先日より熱中症になりました。ただ熱いだけではなく、気持ちも落ち込みます。熱中症はバカに出来ません、ご注意ください。目黒 恵一／岡田さん、今日のフォーラムよろしくお願いします。

安藤 公一／岡田さん、本日のフォーラムよろしくお願いします。

新川 尚／9/7はポリオディのイベントが横浜市役所です。一人でも多くの会員のご参加をお願いします。

増田嘉一郎／今年も夫婦で誕生日祝いを頂きました。私は、20日で80歳になります。何のお役にもたっていないですが、今後とも宜しくお願い致します。

関口 大樹／岡田さん、本日の卓話よろしくお願いします。

五十嵐 正／岡田さん、本日のフォーラムよろしくお願いします。

中島 徹／岡田さん、本日のフォーラムよろしくお願いします。

市川 慎二／岡田さん卓話楽しみです。旭ジャズまつり、大盛況、北澤さん、テント等ありがとうございました。

岡田 隆／本日、社会奉仕フォーラムの担当をいただいています。皆様にご意見頂く時間も設けてあります。どうぞよろしくお願い致します。

北澤 正浩／ジャズ祭りにご参加いただき深く御礼申し上げます。岡田さんフォーラムよろしく願いいたします。

■社会奉仕フォーラム 岡田 隆

本日は、社会奉仕フォーラムということでお役目をいただきましたので、本年度の取り組みの確認と、次年度以降の計画に少しでもお役に立てるように皆様とお時間を共有させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、社会奉仕とは、ご覧のような事柄で、これを生成 AI で要約してもらうと

「ロータリークラブにおける 社会奉仕 とは、地域社会のニーズに応え、人々の生活向上に取り組む活動です。」

会員の専門性を活かし、持続可能で地域に根ざした支援を行います。」

代表例：清掃や緑化、福祉施設支援、災害復興、健康診断・献血、教育支援など。

「五大奉仕」の一つであり、他の奉仕(クラブ・職業・国際・青少年)とも連携して実践されます。—— 簡潔に言えば、地域と人々のために行う実践的な奉仕活動です。となります。

続きまして、私が入会させていただき、頂戴した 2018 年度の活動報告書まで遡って、横浜旭 RC が行ってきた行事を簡単にまとめました。これ以前に関しては、後半の時間で会員の皆様のお話をお聞かせいただきたいと思います。

スライド使用

岩沼産コシヒカリは 2 Kg で 700 円 300 袋で販売されていたと記録されております。現在の備蓄米より安価なので、今ならあっという間に完売ですね。

今年度の活動計画は、昨年同様、本日回覧させていただいているフォルテ祭、旭ふれあい区民祭りと、チャリティコンサートへの協力です。昨年度は東日本の復興支援募金と同時に能登の災害復旧の募金をさせていただきましたが、今年度は防災エコバッグの PR を予定しております。皆様のより多いご参加をお願いいたします。



実は定かな話ではありませんが、旭ふれあい区民祭りに関して「コロナ」での空白を挟んで以前からの引継ぎがあまりうまく行われずに、現状は昨年同様に維持するだけとなっていると言う事を耳にしました。当クラブの場合、物品販売のブースへ出店希望をするならば、かなり前から希望を出さないといけないようで、実際今年度も昨年同様のブースに出店するか？しないか？だけのお伺い書みたいなのが届いていました。もし次年度は何か物品販売をしよう！となれば、次年度の委員長が決まった段階で動き出さないと、間に合わないかと思われるます。

そこで、このフォーラムのこれからの時間は会員の皆様の過去の体験や、こんなことどうだろう？など広くご意見をお聞かせいただきたいと思います。

会員の皆様からのご意見

- ・旭ふれあい区民祭りでの物品販売の再開を検討
- ・チャリティコンサートでの物品販売の模索
- ・鶴ヶ峰駅地下化に伴う防災施設の提案活動
- ・エコバッグのモニター募集活動
- ・各種防災グッズの紹介など
- ・他、地元への貢献を踏まえ何ができるのか？もっと広く模索をなど、活発なご意見を頂戴しました。

次年度以降の参考になれば幸いです。ありがとうございました。

■次回例会

9/17 小林 三季様（旭警察署長）

2025-26 年度

第 5 回 理事役員会議事録

- 日時 25 年 8 月 2 日 13 時 30 分 ■出席者 北澤、岡田、安藤、目黒、佐藤勉、新川、
(敬称略) 五十嵐、関口 (書記)
■場所 例会場 ■欠席者 福村

●議題【報告事項】

〈地区関係〉

- 1、 8 月 23 日 R 財団学友会に主催による、財団学友の体験談や参加者によるパネルディスカッションが横浜駅西口、ビジョンセンター横浜にて 13 時より開催されます。身近に留学を目指している方にお知らせください。
- 2、 8 月 30 日(土)青少年交換派遣学生帰国報告会が、関内ホールにて 14 時より行われます。
- 3、 2027 年国際園芸博覧会 (花博) についてのアンケートのお願いが届いております。締め切は 8 月 20 日とのことです。

〈クラブ関係〉

- 1、 8 月 20 日はガバナー公式訪問日となります。出席の程お願いします。
また、就労継続支援施設に銀河からご挨拶に職員がお見えになります。

【審議事項】

- 1、 就労継続支援施設銀河と事業連携する件。
防災エコバック制作経費の概算、材料費 1 個 約 1,300 円位、銀河工賃 1 個 1,000 円
今後協賛企業開拓の際、1 万円で 4 個の設定予測
当面は区民まつりに展示する数として、20 ～ 30 個分の予算審議。
20 個 / 50,000 円 30 個 / 75,000 円
→ 30 個にて承認
- 2、 花博についてのクラブ参加について。継続審議。
- 3、 10 月 1 日米山記念館訪問につき (20 万円) お一人 2,000 円 宋さんへのお土産代
- 4、 フォルテ祭につき NGO の伊吾田さんの会場費・弁当代
- 5、 横浜旭 RC の参加費 30,000 円 → 承認
- 6、 クリスマス会予算について、次回予算書提出する。
- 7、 週報のデジタル化について → 保留

2025-26 年度

第 6 回 理事役員会議事録

- 日時 25 年 9 月 3 日 13 時 30 分 ■出席者 北澤、岡田、安藤、目黒、佐藤勉、新川、
(敬称略) 五十嵐、関口 (書記)
■場所 例会場 ■欠席者 福村

●議題【報告事項】

〈地区関係〉

- 1、 地区大会が 11 月 8 日(土)パシフィコ横浜会議センターで行われる。
- 2、 第 20 回インターアクト オータムミーティングが 10 月 5 日(日)桐蔭学園にて行われる。

【審議事項】

- 1、 2 月 25 日瀬谷クラブとの合同例会につき、市川会員より講師として、ラミレスさんの推薦がありました。講師料を 10 万円 (瀬谷クラブと折半)。講師料とは別にラミレスさんの法人 (この法人は横浜市において、少年野球大会の開催や、市が進めるウクライナ避難民支援への協力などの地域貢献活動する団体とのことです。) に寄付 5 万円 (瀬谷クラブにも協力頂ければ、スマイルとして各会員 1000 円以上。) とのことです。
⇒ 会員増強委員会の体験例会とし、入会候補者を募る
⇒ サンハート 承認
- 2、 社会奉仕委員会、フォルテ祭り、区民まつりについて。⇒ 弁当各自負担他 承認
- 3、 親睦委員会、クリスマス家族親睦会について ⇒ 予算書承認
- 4、 地区大会登録料につき保留